

平成 30 年 8 月期

横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のトピックス》

- 風しんの報告数が増加しています。
- A 型肝炎の報告が多い状態が続いています。
- 伝染性紅斑の報告が多い状態が続いています。
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が 23 件ありました。今後の推移に注意が必要と考えられます。
- 百日咳の報告が 40 件ありました。今後の推移に注意が必要と考えられます。

全数把握の対象

【8 月期に報告された全数把握疾患】

腸管出血性大腸菌感染症	23 件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 件
E 型肝炎	2 件	侵襲性肺炎球菌感染症	6 件
A 型肝炎	4 件	水痘(入院例に限る)	1 件
デング熱	1 件	梅毒	18 件
ライム病	1 件	播種性クリプトコックス症	1 件
レジオネラ症	2 件	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 件
アメーバ赤痢	3 件	百日咳	40 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	9 件	風しん	9 件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 件		

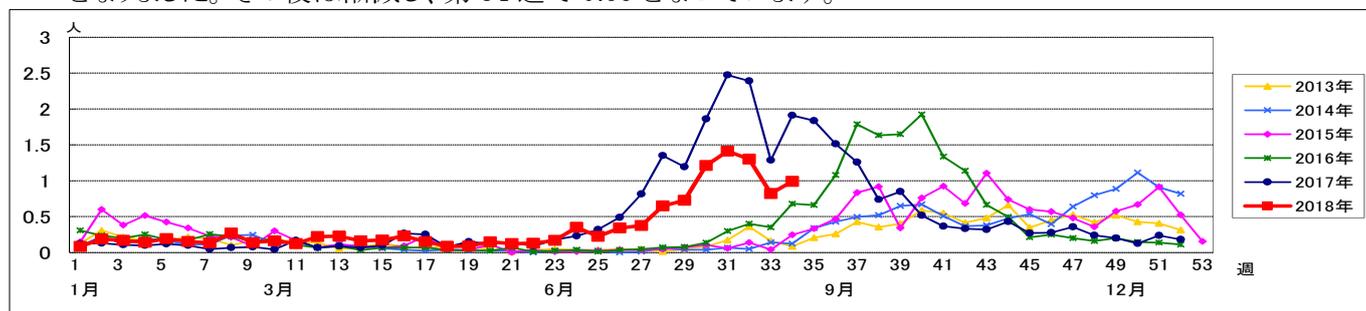
- 1 腸管出血性大腸菌感染症: O157 の報告が 20 件(うち 4 件が無症状病原体保有者)、O26 の報告が 1 件(無症状病原体保有者)、O111 の報告が 1 件、O115 の報告が 1 件ありました。
- 2 E 型肝炎: 2 件の報告があり、いずれも国内での経口感染と推定されています。
- 3 A 型肝炎: 推定される感染経路は、国内での経口感染が 2 件、経口または異性間性的接触が 1 件、詳細不明の性的接触が 1 件で、いずれもワクチン接種なしでした。
- 4 デング熱: フィリピンでの蚊からの感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 5 ライム病: 国内での動物・蚊・昆虫等からの感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 6 レジオネラ症: 肺炎型の報告が 2 件あり、感染経路不明です。
- 7 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が 3 件ありました。国外での経口感染と推定される報告が 1 件、国内での経口感染と推定される報告が 1 件、感染経路不明が 1 件でした。
- 8 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 9 件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 9 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: A 群の報告が 3 件、G 群の報告が 2 件あり、感染経路等不明でした。
- 10 侵襲性インフルエンザ菌感染症: 60 歳代および 90 歳代の報告が 1 件ずつありました。
- 11 侵襲性肺炎球菌感染症: 幼児の報告が 2 件(いずれもワクチン 4 回接種あり)、50 歳代の報告が 1 件、60 歳代の報告が 1 件、70 歳代の報告が 2 件(いずれもワクチン接種不明)ありました。
- 12 水痘(入院例に限る): 40 歳代の検査診断例の報告が 1 件(ワクチン接種なし)ありました。
- 13 梅毒: 18 件の報告(無症状病原体保有者 8 件、早期顕症梅毒 I 期 7 件、早期顕症梅毒 II 期 3 件)がありました。国内での感染が 17 件、国内またはタイでの感染が 1 件でした。感染経路は、異性間の性的接触が 13 件、同性間の性的接触が 2 件、詳細不明の性的接触が 3 件でした。男性 15 件、女性 3 件でした。
- 14 播種性クリプトコックス症: 1 件の報告があり、感染地域等不明です。
- 15 バンコマイシン耐性腸球菌感染症: 2 件の報告がありました。1 件はネパールでの感染が推定され、1 件は感染経路等不明です。
- 16 百日咳: 10 歳未満では乳児が 4 件(ワクチン接種あり 2 件、なし 2 件)、小児で 16 件(ワクチン接種あり 11 件、不明 5 件)の報告があり、10 歳代で 15 件(ワクチン接種あり 10 件、不明 5 件)、20 歳代で 1 件(ワクチン接種不明)、30 歳代で 3 件(ワクチン接種不明)、40 歳代で 1 件(ワクチン接種不明)の報告がありました。
- 17 風しん: 検査診断例 8 件、臨床診断例 1 件が報告されています。10 歳代 2 件(いずれもワクチン接種不明)、20 歳代 2 件(いずれもワクチン接種不明)、30 歳代 1 件(ワクチン接種なし)、40 歳代 3 件(ワクチン接種あり 1 件、なし 1 件、不明 1 件)、60 歳代 1 件(ワクチン接種不明)でした。

平成 30 年 週一月日対照表

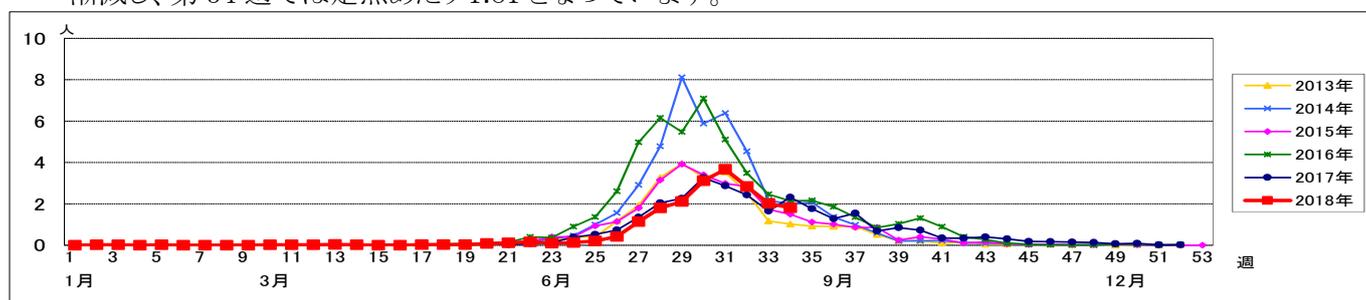
第 30 週	7 月 23 日	～	29 日
第 31 週	30 日	～	8 月 5 日
第 32 週	8 月 6 日	～	12 日
第 33 週	13 日	～	19 日
第 34 週	20 日	～	26 日

定点把握の対象

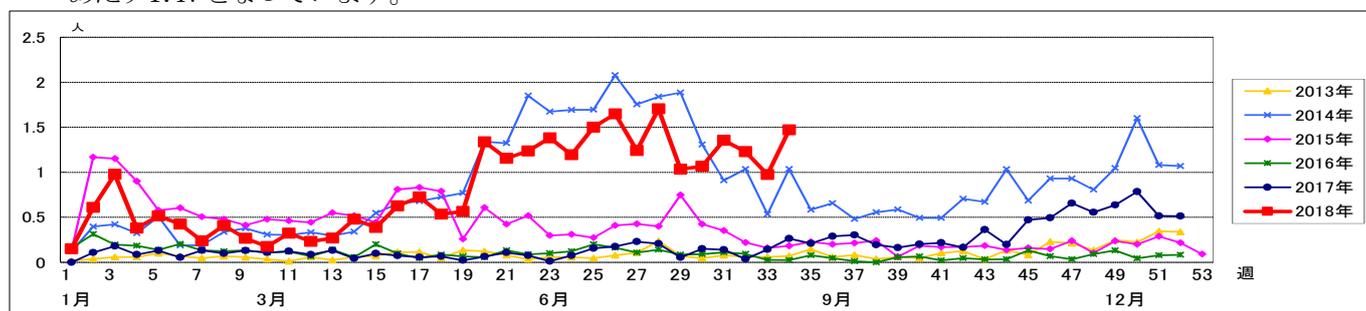
- 1 RS ウイルス感染症:第 27 週で定点あたり 0.37、第 28 週で 0.65、第 30 週で 1.21 と増加傾向となり、第 31 週で 1.41 となってピークとなりました。その後は漸減し、第 34 週で 0.99 となっています。



- 2 ヘルパンギーナ:第 26 週にて 0.42 と増加傾向となり、第 31 週で 3.67 となってピークとなりました。その後は漸減し、第 34 週では定点あたり 1.81 となっています。



- 3 伝染性紅斑:2017 年第 45 週頃より増加傾向となり、例年と比べて高値で推移しています。第 34 週では定点あたり 1.47 となっています。



4 性感染症:7 月

性器クラミジア感染症	男性:26 件	女性:23 件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性: 7 件	女性:16 件
尖圭コンジローマ	男性: 6 件	女性: 1 件	淋菌感染症	男性:15 件	女性: 1 件

5 基幹定点週報:

	第 30 週	第 31 週	第 32 週	第 33 週	第 34 週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00
マイコプラズマ肺炎	1.50	0.33	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

6 基幹定点月報:7 月

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	10 件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0 件
薬剤耐性緑膿菌感染症	1 件		

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>